



RAVENNA ASIO推奨ネットワークアダプタ

Merging AES67 RAVENNA ASIO ドライバーはオンボードのものも含め、あらゆるギガビット イーサネット アダプターで機能しますが、専用カードを使用することをお勧めします。

最適なパフォーマンスを得るには、Intel ギガビット ネットワーク アダプターの使用をお勧めします。

コントロール パネル > デバイス マネージャー で、ネットワーク アダプターを見つけ、カードを選択して、そのプロパティを開いてください。

- 「グリーン イーサネット (Green Ethernet)」、「エネルギー効率の高いイーサネット (Energy efficient Ethernet)」、「超低電力モード (Ultra Low Power mode)」、「システム アイドル パワー セーバー (System Idle Power Saver)」などの電源管理機能を「無効」にしてください。

これらのオプションは通常、「電源管理」タブにあります。NIC の製造元とモデルによって場所が異なる場合があります。

- 「スタンバイ中にリンク速度を下げる (Reduce link Speed during standby)」を「無効」に設定してください (特に RAVENNA ネットワークでスイッチを使用している場合)。
- 「電源オフ時に速度を下げる (Reduce Speed on Power Down)」を「無効」にしてください。
- 必須ではありませんが、専用の RAVENNA ネットワーク カードでは「Wake on LAN」も無効にしてください。

追加の注意事項:

- 「ジャンボ パケット (Jumbo packet)」はサポートされていません。
- 「割り込みモデレーション (Interrupt Moderation)」を「無効」にすると (デフォルトでは有効)、シンクジッターの削減に役立つ場合があります。
- 「受信側スケーリング (Receive Side Scaling)」は、「有効」に設定してください。
- 「受信側スケーリング キュー (Receive Side Scaling Queues)」は「1 (デフォルト値)」に設定してください。キュー (queues) が 2 つあるとパフォーマンスが非常に低下する可能性があるためです。
- 「パフォーマンス オプション (Performance options)」は、「デフォルト値」のままにしておいてください。
 - 「アダプティブ フレーム間隔 (Adaptive Inter-Frame Spacing)」を「無効」
 - 「フロー制御 (Flow Control)」を「RX & TX」に設定
 - 「割り込みモデレーション レート (Interrupt Moderation rate)」を「アダプティブ (Adaptive)」に設定 (割り込みモデレーションが無効の場合は効果がありません)
 - 「受信バッファ (Receive Buffers)」を「256」に設定します。
 - 「送信バッファ (Transmit Buffers)」を「512」に設定します。
- **Realtek 2.5 GbE** コントローラーの場合、デフォルトの「受信バッファ値」は、多くの場合、デフォルトで「512」に設定されています。これは「256」に設定してください (「送信バッファ」は「512」のまま)。
- Windows 10 から Windows 11 にアップグレードすると、重要な「RSS キュー (RSS Queues)」などの特定の設定にアクセスできなくなる場合があります。このような場合は「デバイス マネージャー」を開き、ネットワーク アダプターを右クリックして、「ドライバー」に移動し、「ドライバーのダウングレード」を選択してください。これにより、非表示の設定にアクセスできるようになります。





- Mac ユーザーは、Sonnet Thunderbolt AVB アダプターなど、Merging が推奨するネットワークアダプターを使用することをお勧めします。

